

■：企業の景況感が2年ぶりにプラスに転じたところで、日銀の4半期ごとの短観(企業短期経済観測調査)は前回(3月) マイナス14とひどかったですが、ここへ来て15%上昇、5期連続で改善、景気は順調に回復し続けていると見て良いでしょう。もともと先行き悪化を予測する業種も未だ多いようなので油断は出来ませんよ。

■：7月の参議院選挙では政権党民主の大敗。こちらが予想した通り日本の有権者は優秀ということでしょう。世襲鳩山とか「ゾンビ小沢」なんてカネまみれの政治家のさばっていたのでは自民の急迫を受けるのは当然、それにしても自民51に対して民主44の獲得議席とはこれいかに。1人区29のうち政権党が取ったのは8だけ、この負けっぷりはひど過ぎる。当分菅政権も大変な事でしょう。

■：その菅さん、好漢愛すべし、と思いきやキレカン、スネカン、ブレカンと言いたい放題されています。ついに空きカンとまで。歴代世襲の政治家のさばっていた日本の政界

にやって市民運動家上がりのまともな政治家出現、と喜ぶ向きもあるのですがね。ただこの人、面と向かってしゃべる時、いわゆる「視線」が定まらない。いつもキヨロキヨロで、欧米では最も軽べつされるタイプ。相手の目をじっと見すえてモノを言う紳士IIジェントルマンのマナーを身につけてほしいもの。

■：サッカーの大騒ぎがやっと終わり、現地まで出かけた日本人ファンも事故もなく無事帰国、やれやれですね。南アフリカの国情を知る人たちはなかなかあの国に足を向けません。エイズ患者が国民の20%以上、暴力事件は日常茶飯事、最も恐いのは「ネックレス・リンチ」と称してガソリンづけにした古タイヤを相手の首にはめて燃やすという。アパルトヘイト(黒人差別)は解消されたとはいいますが、荒っぽい民族性はそう簡単には改善されそうもありません。

■：宮崎県下の口蹄疫には驚かされました。20数万頭の牛や豚が処理されたそうで。情報によると9年前にも発生例があったらしいですが、今回ほど大事には到らなかった。偶蹄類といって四肢の指の数が偶数で

蹄(ひづめ)を持つ牛、豚、羊、ヤギ、水牛に発生するそうで。素人考えて言えば、人間に感染しないのから感染した牛でも足をちよん切って他の部分を食用にできないものか。

■：東京都庁の職員12%は月1冊の本も読まず、25%は新聞未購読とか。都知事の命令でか知りませんがこれからは言語技術の勉強をするところで。職員の逮捕が相次いだ関西のある市では管理職対象に職務研修会を開くそうです。まあ、キャリア官僚(41)が酒に酔って駅員に暴行を加えた、なんて事件もあったことですし、公務員が日々緊張感を持って職務にいそしむのは市民から見れば歓迎すべきこと。

■：「カジノは絶対に必要」とは大府知事の発言。大阪湾岸の統合型リゾート計画で経済効果を高めるため「博打場」「賭場」を誘致しようというもの。が「増税をやるならカジノを、国の政治家の目を覚まさせる」は大層な物言い。ついでに相撲取りたちの小博打にも同情してあげては。まあ、テレビの出演料や知事報酬、原稿料計5282万円も稼ぐご人だから、せいぜいカジノで賭けて職員に範を示してください。

月刊公論 MONTHLY
KORON

9月号 第43巻9号

平成22年9月1日発行 毎月15日発売
定価890円(本体848円) 送料84円

発行人 大 中 吉 一 編集人 田崎義信 土井正彦
発行所 株式会社社界通信社
〒160-0008東京都新宿区三栄町25ボナフラワービル
TEL.03-5379-5611(代)、FAX.03-5379-5616
印刷所 株式会社廣済堂
取次店 トーハン/日本出版販売/大阪屋/栗田出版販売

●直接ご購入をご希望の方は、本社までお問い合わせ下さい。
●万一、乱丁、落丁などの不良品がございましたら、お取り替えいたします。